

学術講演会「ーグローバル化と経済危機下の EU とドイツを考えるー ドイツ講演会」のご案内

各位

鹿児島県立短期大学学長
中留武昭

拝啓

新年度も始まり、新たな活力とともにご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、県立短期大学は本学創設 60 周年記念事業のプレ企画として、ベルリン工科経済大学 Hochschule für Technik und Wirtschaft Berlin のハイネ学長一行を迎え、4 月 29 日に学術講演会「ーグローバル化と経済危機下の EU とドイツを考えるー ドイツ講演会」を以下の内容で企画しております。多数ご参加いただければ幸いです。

敬具

ハイネ学長一行の訪問は、ベルリン工科経済大学が 15 年にわたる鹿児島県立短期大学との研究交流を評価し、米独日の三拠点での国際協同研究の足場をつくるプロジェクトの一環として、企画されました。本学では、研究協議、講演会、学長会談を行うことを予定しています。

ベルリン工科経済大学は、旧東ドイツのベルリン経済大学やその他のベルリンの公共教育機関を集めて 1991 年に Fachhochschule für Technik und Wirtschaft Berlin ベルリン工科経済（専門）大学として発足しました。その後の統合等の結果、現在学生数は約 1 万人、工学 1・2、経済学 1・2、デザイン学の 5 学部で校正されています。ドイツでの大学評価のベンチマークでは応用学系大学としてトップテンに入っています。本年 4 月 1 日に州法の改正により HTW Berlin ベルリン工科経済大学への名称変更がなされました。

本学とは平成 7 年以降国際研究交流が継続されており、共同研究としての成果は 3 点の著作（和書 1、洋書 2）・2 点の調査報告書（科研費報告書）として公表されています。また、本学学生のベルリン・サマー・スクールや本学教員の留学・研修・調査研究に際しては多大な支援を受けてきました。

本学は 2004（平成 16）年に友好協定を結び、相互間の国際研究協力、編入受け入れなど多面的な協力関係にあります。

記

講演内容

ミュヒャエル・ハイネ 博士（ベルリン工科経済大学教授・学長）

「EU およびドイツにおける大学改革の今日的傾向」

エッケハルト・ザクセ 博士（ベルリン工科経済大学教授）

「恐慌の諸条件下の雇用ードイツを事例にー」

ユルゲン・ケスラー 博士（ベルリン工科経済大学教授）

「金融危機の様相下のドイツおよび EU におけるコーポレート・ガバナンス論争」

日時 2009 年 4 月 29 日 13 時 30 分～17 時 00 分

会場 鹿児島県立短期大学附属図書館 2F 視聴覚室

参加 参加費無料。受付順 60 名まで。

希望者は鹿児島県立短期大学附属図書館まで。

連絡先 099-220-1111～1114（図書館事務室）E-Mail：library@k-kentan.ac.jp

担当： 朝日吉太郎 商経学科教授

主催： 鹿児島県立短期大学

以上